

あめ
戦場の天は崩れし原城趾

おきつあらし

うらみ

沖津荒磯に流す浦見ぞ

令和三年八月十四日

大中臣正比呂



線状の降水帯は天草に垂れ込み、激戦の城は石垣も崩壊した
そうな。使徒殉教の懺^{うら}みは大雨^{たいう}と共に沖に流れたであらう。